

1 地域振興部

○県民生活

月	日	事 項	説 明
2 6 10	22 7 14	移動県民相談	日高振興局で相談員・弁護士による移動県民相談を実施。 年3回実施。平成23年は台風12号で被災された方を対象に11/1、11/11、11/22に弁護士無料相談を実施。
3	1	春季全国火災予防運動に伴う啓発活動	火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の普及及び火災の発生防止を目的に、日高振興局、管内各町及び日高広域消防事務組合が連携し、広報車・消防車による管内主要路線の啓発巡回を実施。
4	1 ～ 12	県議会議員一般選挙	4/10執行の県議会議員一般選挙の候補者届出及び各種届出の受付等を行うと共に、御坊市内において投票棄権防止のための街頭啓発や広報車による啓発を実施。4/12に選挙会を実施。
5	11	春の全国交通安全運動日高地方交通安全大会	印南町公民館大ホールにおいて、日高地方の高齢者等を対象に、御坊警察署長谷交通課長による交通安全教室を実施。 また、腹話術師の「千田やすし」さんを迎え、交通安全講話を実施。
5	12	春の全国交通安全運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官、愛徳保育園等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資を配布。
5 10 11	31 17 10	紀の国ふれあいバス	より開かれた県政を推進するため、県の施設や地域の振興に努めている施設をバスで案内し、実際に見ていただき、県政やふるさと和歌山について理解を深めてもらうとともに、意見・提言等を県政に反映。
6 7 7 11	26 9 22 28	行政報告会 印南町・日高川町 日高町・由良町 御坊市 美浜町	平成21年7月から開始した、「和歌山県行政報告会」では、知事が県行政の重点施策や各地域の課題、トピックスなどについてお話し、参加された県民の皆さまと直接意見交換しております。
7	15	わかやま夏の交通安全運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官、紀央館高校等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資を配布。 また、県警音楽隊による「安心安全日高路コンサート」を実施。
9	2 ～ 6	北方領土返還要求運動 市町村巡回キャンペーン・パネル展示（日高管内）	オークワロマンシティにて、北方領土返還要求運動の一環として、パネル展示を実施。北方領土問題の解決に向けて、理解と関心を深めてもらうために県内8カ所で啓発を実施。
9	27	秋の全国交通安全運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官、湯川幼稚園等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資を配布。
11	9	秋季全国火災予防運動に伴う啓発活動	火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の普及及び火災の発生防止を目的に、日高振興局、管内各町及び日高広域消防事務組合が連携し、広報車・消防車による管内主要路線の啓発巡回を実施。
11	20	日高地方交通指導員会連絡協議会研修会	交通指導員の資質向上を図るため、日高振興局別館大会議室において、御坊警察署管内市町の交通指導員を対象に研修会を開催。御坊警察署岩本交通係長を講師に招き「日高路の交通マナーアップについて」をテー

			マに講演を実施。
11	20	日高地方交通指導員会連絡協議会優良交通指導員会長表彰式	交通指導員として、地域の交通安全に貢献し、多大な成果を収めた指導員1名を優良交通指導員として表彰。
12	6	わかやま冬の交通安全運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官、野口小学校等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物品を配布。また、白パイの展示、撮影会を実施。

○防災

月	日	事 項	説 明
2	5	県災害対策本部日高支部図上訓練	東海・東南海・南海地震の発生を想定した図上訓練を実施。 (参加機関) 日高振興局・県危機管理局・消防・警察・自衛隊 (参加人数) 80名 (場所) 日高総合庁舎別館大会議室
9 11	5 ~ 30	県災害対策本部日高支部設置	台風12号の発生に伴い、県災害対策本部日高支部を設置し対応した。

○人権・青少年の健全育成

月	日	事 項	説 明
1	21	日高地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会先進地視察研修会	かつらぎ町「童楽寺」にて、安武住職より里親制度に関わる取組みを学んだ後、意見交流会を実施。
2	18	日高郡地域活動連絡協議会指導者研修会	管内6町の指導者が、「稲むらの火の館」で防災研修、海南市のレストランでテーブルマナー教室を実施。
4	27	日高地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会総会	平成22・23年度推進委員及び各市町青少年事務担当者が出席し、御坊保健所にて開催。平成22年度の反省と23年度の事業計画について話し合った。
5	13	日高郡地域活動連絡協議会総会・クラブ大会	子どもの福祉の増進、健全育成を目的として活動する日高郡地域活動連絡協議会の総会とクラブ大会を日高総合庁舎にて開催。クラブ大会では、県青少年・男女共同参画課の田中雅博氏を講師に迎えて「子どもの携帯電話やインターネットの適正な利用について」講演を実施。
6	5	少年メッセージ2011日高地方発表大会	日高地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会が主催。日高川交流センターにおいて実施。地域住民に管内中学生21人の考え・意見・状況を広く知ってもらい、青少年健全育成への動機付けの機会とするとともに、県大会出場者の選考も行った。
6	23	男女共同参画週間(6月23日~29日)街頭啓発	オークワロマンシティ前で男女共同参画社会形成に向け、県民の理解を深めるため、御坊法務局、人権擁護委員、御坊市、ウィズ・ア・スマイル等と協力し街頭啓発を実施。
7	19	「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」の締結	すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現を目指し、県内企業等と県が協働する「わかやま人権パートナーシップ推進事業」を実施。日高管内では株式会社ハルテック和歌山工場、(株)ワークメイトの2者と新た

			に締結。(管内計15団体に)
7 8	26 2	「夏の子どもまもる運動」街頭啓発	御坊広域青少年補導センター職員とともに、公用車にて日高管内啓発巡回を実施。
7 、	30	少年メッセージ2011和歌山県大会	和歌山県青少年育成協会の主催で、橋本市教育文化会館にて実施。名田中学校2年 楠見直之君、由良中学校2年 戒ひなたさんの2名が出場。
11	1	同和運動推進月間(11月1日～11月30日)、人権を考える強調月間(11月11日～12月10日)	月間中、関係機関と連携し御坊駅前や各地のスーパー店舗前にて街頭啓発を実施。11月18日には印南中学校生徒会の参加協力を得た。12月5日には和歌山県人権尊重の社会づくり協定事業者である社会福祉法人太陽福祉会の参加協力を得た。
11	3	子ども・若者育成支援強調月間県民大会	きびドームにおいて、青少年育成に関する種々の知事表彰、有田地方高校生によるパネルディスカッション等を実施。
11	7	子ども・若者育成支援強調月間広報キャラバン隊	広報キャラバン隊を組織し管内市町を巡回、知事メッセージを管内市町の首長に伝達。
11	14	「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日～11月25日)街頭啓発	11月14日には、オークワロマンシティ前で、御坊警察署、御坊市、ウィズ・ア・スマイル等と協力し街頭啓発を実施。11月18日には、Aコープいなみ店前で印南中学校生徒会の参加協力を得て街頭啓発を実施。
11	19	日高地方地域子ども集団親睦交流大会	日高地方青少年対策部主催。管内各市町より小学生と保護者のペア(計48組)が出場し、ボーリング大会を実施。管内子ども会相互の親睦交流を図った。
11	22	「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」の締結	すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現を目指し、県内企業等と県が協働する「わかやま人権パートナーシップ推進事業」を実施。日高管内では紀州鉄道(株)、中紀バス(株)、日高卸売市場(株)の3者と新たに締結。(管内計18団体に)

(日高の産業振興)

○商工業の振興

月	日	事 項	説 明
1 ～ 12		企業訪問 新規進出企業・増設等	管内企業の現状、課題及び行政に対するニーズを把握するため、24社の企業訪問を実施。
4		ふるさと認証食品「梅干し及び調味梅干し」の認証	認証業者：6社(8商品) 認証期間：H23.4.1～H26.3.31
7		ふるさと認証食品	申請受付：H23.7.1～H23.8.31 申請業者：21社(110商品)
7		第4回プレミアム和歌山	申請受付：H23.7.1～H23.7.29 申請数：52商品
8	14	日高地方Uターンフェア	新卒・一般求職者を対象に、地元企業への就職を支援するため、合同の就職説明・面談会を実施。

			参加事業者22社、来場者100名うち22名が内定。
11	4 ～ 6	「和歌山日高フェア」開催	京都市内のタベルト京都店で日高特産品販売促進協議会による特産品販売・観光PRを実施。
12	24	きのくにロボット フェスティバル2011	実行委員会主催で、御坊市立体育館で実施。 今年で5回目の開催、来場者数7,000名。

○観光の振興

月	日	事 項	説 明
毎月		日高地方の観光PRチラシ作成	各市町の見どころ、イベントカレンダーを盛り込んだチラシを観光資源PRを目的に200部作成。
8	6	観光資源・特産品のPRイベントの実施	観光資源と特産品PRのため観光パンフレット配布や特産品を景品とした抽選会イベントを印南SA(下り線)にて開催。
8	10	おもてなし研修	日高広域観光振興協議会会員、一般参加者を対象とした、おもてなし力の向上を目指す研修会を開催。31名が参加。
11	9	管内語り部現地研修会の開催	地域資源の共有化や情報交換を目的に御坊市内にて開催。 御坊市、由良町、日高町、印南町の語り部、協議会会員ら19名が参加。
11	27	観光資源・特産品のPRイベントの実施	観光資源と特産品PRのため観光パンフレット配布や特産品を景品とした抽選会イベントを印南SA(上り線)にて開催。
12	10	JR新大阪駅 観光PRイベント開催	日高管内観光担当者等が参加のうえ、JR新大阪駅にてアンケートを実施し、回答者に抽選して頂き、日高地方の特産品をプレゼント並びパンフレットを配布し観光PRを実施。

○食育の推進

月	日	事 項	説 明
10	29 30	地域イベントへの食育啓発コーナーの出展	29日「白いファンタジーロード」ウォーキング(由良町) 30日「宮子姫みなとフェスタ」(御坊市) の両イベントに出展し、食育活動の展示や食育クイズ等を実施。

○雇用の推進

月	日	事 項	説 明
4 ～		ふるさと雇用再生特別基金活用事業	【県事業】 ・日高振興局企画産業課：3件 新規雇用6名 【市町事業】 ・御坊市：3件 新規雇用9名 ・日高町：1件 新規雇用2名 ・印南町：2件 新規雇用17名 ・みなべ町：1件 新規雇用2名 ・日高川町：4件 新規雇用7名 (9月末現在)
4		緊急雇用創出事業臨時特例基金	【市町事業】

～	活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・御坊市：6件 23人 ・美浜町：5件 13人 ・日高町：4件 19人 ・由良町：7件 27人 ・印南町：10件 46人 ・みなべ町：10件 42人 ・日高川町：11件 53人 <p style="text-align: right;">(9月末現在)</p>
---	------	---

○活力ある地域づくり

月	日	事 項	説 明
1	1	わがまち元気プロジェクトの推進(21年度～23年度)	<p>●御坊市 "花のまち御坊"ステップアッププラン 情報発信及び産地のイメージアップのため、積極的でノウハウのある団体に事業委託し、御坊市の花きのブーケをJR京都駅等で配布しPR活動を行うほか、関係者で協議会を設立し、土産品等の開発や商店街の活性化、観光PRを目的としたデジタルマップの作成に取り組んでいる。</p> <p>●由良町 "由良・白崎海岸" 観光まちづくり 閑散期(冬期)における由良町の観光資源である水仙を、町の観光施設の中心である白崎海洋公園内に水仙園という形で整備。SAやイベントでの地元産品の販売促進活動を実施。その他、ゆら語り部クラブに対し、語り部として必要な備品の整備を通して語り部活動を支援。</p> <p>●みなべ町 "みなべの梅" 底上げ戦略の推進 大手食品会社とタイアップした梅干の商品作り(若い女性を交えたアイデア会議発案による新しい梅干商品作り)を実施。南部高校農業クラブと梅の消費拡大を目的とした協議会を設立。その他、地梅酒の開発への支援や梅酒コレクション・イン・みなべの開催等を通して、若者を中心にした消費拡大に向けて取り組み中。</p>
12	31	事業実施主体：御坊市 由良町 みなべ町	

(日高の農業振興)

○農業者活動の活性化支援

月	日	事 項	説 明
1	13	地域農業を考える日高のつどい	紀州南部ロイヤルホテルで、活力ある地域づくりと情報発信について講演を実施。 テーマ：「育てよう日高農業次世代につなぐ希望の架け橋」 参加者：約200名
1	19	日高地方青年農業者会議	農業青年が相互の技術並びに経営成果を発表。 問題解決、展開方向を研究討議。
2	4	地域農産物のPR活動	御坊市農産物振興会「美人のさと塾」(25名)によるPR活動を支援。 JR京都駅前で、スターチス・カスミソウの花束(2000束)、ピーマン・キヌサヤエンドウの袋詰め(800袋)を無料配布。
2	28	日高地方花き連合会研修会	スターチスの病害(灰色かび病)対策、ヒートポンプを利用した高温対策、スターチス県育成品種の現地実証ほ調査(中間とりまとめ)報告について研修を実施。参加者41名
5	18	花育推進活動	日高地方農業士会と日高地方花き連合会が主催し、管内小学校、及び支援学校(34校)へ「切花」と「説明パンフ」を配布。清流小学校、清川小学校及び切目小学校で贈呈式と「花のお話」を実施。

8	1 4	日高地域の産物を使った加工、お菓子づくり体験	日高地方生活研究グループが主催し、一般消費者を公募。加工方法や料理の試食を行った。参加者 70 名
8	4	ニューファーマーズ激励会	御坊市で4 H クラブ連絡協議会役員・理事と新規就農者との交流会実施。

○農業担い手確保・育成対策推進

月	日	事 項	説 明
1 ～ 3		経営体育成支援事業の推進 (新規就農者補助)	新規就農者経営の早期安定を図り、地域における将来の担い手を育成・確保するため、地域の担い手育成総合支援協議会が事業主体となって行う事業推進と補助残融資を支援。 新規就農者が行う施設整備等に対し、400 万円を上限に1/2以内を補助。 助成対象者 管内5名
1 ～ 3		経営体育成支援事業の推進 (融資主体型補助)	認定農業者等が農業経営の発展・改善を目的として、主に融資を活用して農業用機械や施設、土地基盤の整備を行う場合に、融資残額(自己負担分)について、最大 3/10 まで助成(融資率や経営改善の目標等により異なる)。 助成対象者 管内7経営体
1	27	ブラッシュアップみなべ (農村女性能力向上実践講座)	みなべ町で、農家女性を対象に、女性の経営参画をテーマとした研修会を開催。
5 ～		こだわり農産物の推進による新規就農者確保事業の推進	ふるさと雇用再生特別基金を活用し、地域特性を活かしたこだわり農産物を推進、継続的な雇用を創出し、将来、地域農業の担い手となる新規就農者を確保。管内委託先 9戸、雇用者 9名
7 8 11	27 23 1	日高川アグリジャンプアップ セミナー	農家女性を対象に、経営やマーケティングをテーマとした研修会を開催(3回)。

○学校教育と連携した食育推進

月	日	事 項	説 明
6 6	17 29	「和歌山まるごと食体験事業 ～食文化体験(梅加工)～」	「梅」の加工体験を通じ、食文化や農業について理解を深め、「食」を次世代に伝えることを目的に実施。 御坊市立名田小学校 参加児童 20 名 印南町立印南小学校 参加児童 41 名
12	9	郷土食体験 ～地域の食と農を知ろう～	地元農業や農産物について学んだ後、生活研究グループ員から「きつまいもごはん」、「ジャガイモとひじきの煮物」、「たまご焼き」、「みそ汁」の作り方を学ぶ。 御坊市立名田小学校 45 名

○地域特産ブランド育成

月	日	事 項	説 明
1 12	1 ～ 31	新農林水産業戦略プロジェクト 推進事業の実施 事業実施主体：	●紀州中央農業協同組合 【プロジェクト名】 花き生産・流通の低コスト化とオリジナル品種の販売促進。

		<ul style="list-style-type: none"> ・紀州中央農業協同組合 ・グリーン日高農業協同組合 ・みなべいなみ農業協同組合 	<p>【実績】</p> <p>スターチスの低温育苗施設を整備し、施設を活用した県育成オリジナル品種のクーラー苗を8月下旬から生産者へ供給開始。</p> <p>●グリーン日高農業協同組合</p> <p>【プロジェクト名】</p> <p>かんきつ類の出荷時期拡大のための生産・流通対策と加工品開発、販売促進。</p> <p>【実績】</p> <p>Pプラス(鮮度保持袋)で個装保存した清見等の販売促進活動を実施。</p> <p>●みなべいなみ農業協同組合(1～3月のみ)</p> <p>【プロジェクト名】</p> <p>ミニトマト(赤糖房・優糖星)の高品質生産及び加工品開発、販売促進。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規開発商品(トマト梅ジュース)の試作 ・イベント等でのPR、商談会の実施
3 6	2 27	環境保全型農業栽培技術研修会 (オープンセミナー in 日高)	環境保全型農業の推進を図るために設置しているモデル園を活用し、研修会を開催。 ・ミニトマト(印南町西ノ地) 35名参加 ・スイカ(印南町印南) 25名参加
4	13	県育成オリジナルイチゴ品種 “まりひめ”の安定生産支援	“まりひめ”の優良種苗供給支援と炭そ病対策の指導を実施。 生産面積 平成22年 平成23年 152a(16戸) → 156a(16戸)
6 ～ 12		梅の新品種調査検討	6月、12月の2回実施。 みなべ町、JA、紀州うめ研究協議会、県関係機関において実施。
7	21	エンドウのウイルス対策推進	エンドウのウイルス病対策リーフレットの作成・配布。 (日高野菜花き技術者協議会、日高地方病害虫防除対策協議会)
8	30	日高野菜花き技術者協議会 研修会	スターチスの灰色かび病対策について研修会を実施。
11	30	生育不良特別対策部会	うめ生育不良調査結果、事業計画検討。 参加者 26名

○野菜花きの産地強化支援

月	日	事項	説明
4 ～ 12		高品質・生産力強化支援	夏季高温対策のための遮光ネットや遮熱ネット等の導入を支援。 11.4ha
4 ～ 12		省エネ・低コスト生産支援	循環扇等の設置支援。 15.1ha
4 ～ 12		パイプハウス更新支援	県内の施設園芸による農業生産の維持と活性化を図るため、耐用年数を経過したパイプハウス更新を支援。 1.6ha

○鳥獣害防止対策支援

月	日	事 項	説 明
2	14	日高地域鳥獣被害対策本部の設置	野生鳥獣による農業被害等の軽減を図るため、日高地域の市町が相互に連携して行う鳥獣被害対策の実施に関する施策について、総合的な調整と効果的な推進を図ることを目的に設置。 【活動】 ・本部会議の開催…2回 ・幹事会議の開催…6回 ・ニホンジカ管理捕獲の実施…4月1日～5月15日 ・ニホンザル対策研修会の開催…9月29日 由良町 約50名出席
8	3	箱わな捕獲技術研修会	わな猟初心者が、捕獲技術の基礎的な知識と技術の習得ができるよう、農林水産省農作物鳥獣被害対策アドバイザーを講師に招き開催。 日高川町農村環境改善センター、及び現地 約60名出席
11 12	20 11	ジビエ(獣肉)の活用をPR	ジビエの利活用、普及拡大を目的にジビエ料理の試食を実施。 ・印南かえるのフェスティバル 会場 200食(シカ肉の竜田揚げ) ・美浜町農業まつり 会場 200食(シカ肉のしゃぶしゃぶ)

○農村地域整備の推進

月	日	事 項	説 明
4 ～		農業用水利施設の改築	南紀用水・日高川工区の実施。 日高川Ⅱ期地区の実施。 南紀用水(島ノ瀬ダム)の実施。 名田地区の実施。
4 ～		農業用水利施設の保全計画策定	川辺周辺Ⅲ期工区の実施。 千貫工区の実施。 上南部工区の実施。
4 ～		ため池等の整備	油河池、寺谷池の実施。 奥山池の事業着手。 北吉田地区(4池)の基本計画作成。
4 ～		畑地帯の整備	南部地区の実施。
4 ～		小水力発電の整備	南紀島ノ瀬地区実施。

○団体営事業の支援

月	日	事 項	説 明
4 ～		農地・農業用施設災害復旧の実施	農地災害復旧(139件)、農業用施設災害復旧(334件)
4 ～		中山間農地整備	かわべ地区[用排水路、農道、集落道の整備](日高川町)の工事実施。
4 ～		農道の整備	小倉谷地区(みなべ町)の実施。
4 ～		農業用水施設の整備	岡本地区(日高川町)の実施。

(日高の森林・林業振興)

○林業振興の取り組み

月	日	事 項	説 明
1 ～ 12		日高林業普及ニュース発行	森林・林業・木材産業の最新情報や行政施策等を広く普及啓発。 毎月1回 発行部数148部
1 ～ 12		林道整備の支援	市町村が行う林道整備に支援 整備路線数：11路線（みなべ町1路線、日高川町10路線）
1 ～ 12		林道災害の支援	市町村が行う林道災害に支援（災害査定完了） 整備路線数：36路線97箇所（みなべ町13路線27箇所、印南町3路線6箇所、日高川町20路線64箇所）
11	5	林業労働安全パトロール	林業労働安全パトロールを御坊労働基準監督署とともに実施。 実施組合：川辺町、中津村、美山村、印南町森林組合

○木材産業振興の取り組み

月	日	事 項	説 明
4 ～ 12		紀州材需要拡大への支援	紀州材の需要拡大の一環として個人の木造住宅及び公共施設に支援。 応募件数：個人住宅35件、公共施設1件
10	21	「木の日」のキャンペーン活動	紀中流域森林・林業活性化センターが里山の樹木で作る木工教室を開催。内原、志賀、比井保育所（参加園児数：76名）

○森林を学ぶ・つくる普及と活動

月	日	事 項	説 明
1 ～ 12		県民による森林活動への支援	県民参加による紀の国森づくり基金活用事業を実施。 実施団体：7団体 整備面積：2.096ha
1 ～ 12		山地災害の防止・復旧への取組	山地災害の防止と復旧を図るために治山事業を実施。 実施件数：34件 （土木工事：22件、森林整備：12件（県単独事業：1件含む））
3 ～ 12		松林の保全の取り組みへの支援 （松くい虫対策）	地上散布（御坊市、美浜町、印南町、みなべ町） 伐倒駆除（御坊市、美浜町、印南町） 樹幹注入（美浜町）
4	29	緑の募金活動（街頭募金）	実施場所：オークワロマンシティ 参加団体：美浜町緑の少年団18名
5 ～ 11		企業による森林活動に支援	企業が取り組んでいる森林環境保全活動に支援（植樹、竹林整備） 参加企業：9社 参加数：388名 活動面積：10.12ha
9 ～ 11		森林を学ぶ普及活動の取組	次世代を担う子ども達に森林の役割、林業について学ぶ森林・林業、キノビー教室等を実施。 実施校数：保育園・幼稚園 8校、326名 小学校：11校、318名 中学校：1校、11名

○特用林産の振興への支援

月	日	事 項	説 明
4	15	コゴミ栽培の普及	生産者、研究機関と連携しながらコゴミの需要拡大への普及活動。
5 ～ 6		特用林産振興への支援	日高郡内の特用林産（しいたけ、備長炭等）振興を図るために施設への支援。採択件数：4件

(日高の水産業振興)

○水産業の振興

月	日	事 項	説 明
4 ～		漁業後継者支援活動	8月12日 漁業士連絡協議会一本つり部会開催。 6月24日、10月20日 日高地区漁村青年協議会を開催。
4 ～		栽培漁業の推進	ヒラメ、イサキ、マダイ、オニオコゼ、クエの中間育成・放流指導を実施。 比井崎漁協をはじめ日高地区全域でクエの中間育成に取り組み、4、250尾を10月に放流。放流した稚魚のうち1,000尾に標識を装着し、追跡調査を実施。
4 ～		紀州日高漁協流通検討会	販売事業強化のため水産流通アドバイザー派遣による検討会開催。 2回の実施。
4 ～		紀州日高漁協の鮮魚販売	「開店！ビストロ日高」を契機として始まった回転寿司店への鮮魚販売が継続して行われている。名古屋の大手スーパーでのフェアなどへも鮮魚を販売。また、大手量販店や東京のレストランとの商談も始まっており、調整中。
4 ～		内水面漁業の振興	アユ・アマゴなどの加工品の販路拡大のため、東京のアンテナショップ(わかやま喜集館)への出展手続きを指導。
5 ～ 11		水産教室等の開催による漁業のPR活動	小学生や観光客等を対象に、海の生物を通して漁業について学ぶ学習会を開催し漁業をPR。 放流体験学習会 244名(4回)、磯観察会 30名(2回) 出前授業 199名(4回)
6 ～ 7		イサキ増殖礁現況調査 ヒラメ増殖礁現況調査	印南町・御坊市に設置されたイサキ増殖礁の現況について調査。 由良町に設置されたヒラメ増殖礁の現況について調査。
9 ～		企業経営の視点を学ぶ勉強会	紀州日高漁協の役員や職員を対象に、企業経営の視点を漁協経営に導入してもらうための勉強会を2回開催。

2 健康福祉部

(健康危機管理体制の推進)

月	日	事 項	説 明
3		インフルエンザに関するアンケートの実施	平成21年に発生し全国的に流行した新型インフルエンザについて、今後の対策に役立てるため、平成22年に引き続き小学校の児童を対象に、2シーズンのインフルエンザの罹患状況やワクチンの接種状況等に関するアンケート調査を実施。ワクチンの集団感染予防効果を検証。対象者3,867名、回答者3,592名(回答率92.9%)
6	13	御坊保健医療圏健康危機管理協議会の開催	御坊保健医療圏健康危機管理協議会を開催し、災害時医療連携検討会を小委員会として設置し、さらに(1)医療スタッフ・情報等連携専門会と(2)医薬品・医療資機材連携専門会を設置した。今後、地域の災害対応の向上について具体的な対応を検討することとした。医薬品・医療資機材連携専門会2回開催
9		台風12号被災に係る支援	台風12号による被害が大きかった日高川町を中心に保健・衛生面等に関する支援を実施した。
11	9	トリアージ研修会の開催	災害医療救護訓練に参加する医師、看護師、保健師、救急救命士等を対象に治療の優先順位を決定するトリアージ研修会を開催。参加者66名
11	26	災害医療救護訓練の実施	御坊保健医療圏の関係18機関を含む全29機関で、地震を起因とする広域及び局所災害を想定した医療救護実働訓練を実施。参加者約450名

(圏域医療体制の整備)

月	日	事 項	説 明
7 ~ 12		看護師養成所設立準備委員会の開催	御坊保健医療圏における看護師不足解消のため、平成26年4月に国保日高総合病院内に開校予定の日高看護専門学校(仮称)の骨子の検討等を実施。委員会8回 特別委員会1回 開催
12		病院立入検査の実施	管内4病院を対象に、医療法の規定に基づく立入検査を実施し、病院が安全で適切な医療を提供するために必要な助言・指導を行った。

(健康づくりの推進)

月	日	事 項	説 明
4		ヘルスポイント事業の実施	管内の特定健診・がん検診の受診率向上のため、健(検)診を受診、また健康に関するイベント・講演会に参加する毎に葉書にポイントを加算し、一定のポイントを集め応募した方を対象に公開抽選会を実施し賞品(喜劇鑑賞バスツアー、ふるさと特産品、健康グッズ)を贈呈する。平成24年2月1日公開抽選会実施予定。ヘルスポイント応募者2,111名(平成23年12月末現在)
6		ラッピングバスの運行	心身の健康への関心を高めるため、管内を運行する路線バスに特定健診やがん検診及びこころの健康についての啓発のラッピングを実施した。
7		健康講座 わっはっは“笑いの	笑顔で楽しく健康づくりを推進・普及する人材育成を目的に、健康講座

～ 12		大学” Part VIIの開講	を開催。延べ 86 名受講。
10	29	健康日高 21「白いファンタジーロードウォーキング」の開催	管内の住民を対象に、白崎海岸をコースとしたウォーキングを実施。併せてオリジナル健康ガイドブック及び、ゆら健康ソング・健康体操を作成し、当日配布及び披露した。住民の健康意識の向上を図るとともに、由良町の地域資源を P R。 参加者約 100 名
11	29	母子保健業務推進連絡会議の開催	管内の小児科医及び各市町母子保健主管課・母子保健推進員等で構成する会議を開催し、管内の母子保健の現状と母子保健事業における評価を行い、日高地方すこやか親子の今後の取組について検討。

(地域福祉の充実)

月	日	事 項	説 明
4		成長の記録「すこやかファイル」(試行版)の実施	保護者と支援者が連携し、一人ひとりに応じた支援を継続的に行うため、成長の記録として「すこやかファイル」(試行版)を作成し、70 世帯に配布。9 月に配布者の意見をまとめ評価し、平成 24 年度本格的導入に向け、改訂版を作成中。
5		うつ病医療連携の手引きの作成と配布	うつ病の早期発見・早期治療を目的としたスクリーニング手法、一般診療科医と精神科医の役割、連携の具体的方法について記載した手引きを作成、関係機関に配布。
9		うつ病医療連携システム評価のための調査の実施	医療連携の手引き配布後、一般診療科医を対象にうつ病診療や精神科医との連携状況を調査を実施しシステムの評価とした。
9		老人福祉施設整備の調整	「わかやま長寿プラン 2009」および国の緊急経済対策における介護拠点等の緊急整備に基づく老人福祉施設の整備について、御坊・日高老人福祉圏域における整備調整を行った。
10		「災害と心のケア」講演会の開催	災害時に起こりうる急性ストレス障害(ASD)や心的外傷後ストレス障害(PTSD)、うつ病等の精神保健上の問題と被災者の心のケアに関する講演会の実施。
11	29	要保護児童対策地域協議会及び児童虐待防止に関する研修会の開催	児童虐待の予防や早期発見・早期支援の体制強化を図るため、会議を開催し、児童福祉関係機関と母子保健関係機関の担当者を対象とした研修会を実施した。 研修会参加者 44 名

(食品衛生・薬事対策)

月	日	事 項	説 明
1 ～ 12		衛生的な手洗い並びに咳エチケットの普及	食中毒・感染症予防対策として学校等に対して衛生的な手洗い並びに咳エチケットの予防啓発事業を実施した。
1 ～ 12		食品衛生講習会の実施	営業者または住民を対象に、食中毒防止・食品表示・放射線影響・生食用食肉の制度改正等について、講習会を実施した。
1 ～		薬物乱用防止講習会の実施	知識の普及を目的に、学生・保護司会・更生保護女性会を対象とした講習会を実施した。

11			
5		生食用食肉取扱施設の調査	他県で発生した O 1 1 1 食中毒死亡事件を受け、管内の取扱施設を巡回指導した。
6 ～ 8		食品、添加物等の夏期一斉取締りの実施	管内観光施設に付帯する飲食店を中心に、施設の衛生管理について巡回指導を実施。また、食中毒予防啓発用チラシを配布し、営業者に対し注意喚起した。
8 ～ 11		医薬品一斉監視の実施	管内薬局・医薬品販売業者を対象に、薬事法の遵守状況等について巡回指導を実施。
7 ～ 12		福島原発事故に係る食肉調査	放射性物質を含む稲わらを給与された牛について、流通調査を実施した。

(動物愛護の推進)

月	日	事 項	説 明
1 ～ 12		「わうくらす」の実施	児童が命の大切さや他者への思いやりの心を育んだり、適正飼育やその義務や責任を理解し、さらにその保護者の認識を新たにしてもらうことを目的に管内小学校8校で「わうくらす」を実施(18回)。
1 9	26 26	適正飼育講習会(譲渡講習会)の実施	適正飼育の普及を目的として適正飼育講習会(譲渡講習会)を御坊保健所で実施。

(環境対策)

月	日	事 項	説 明
1 ～ 12		不法投棄・公害苦情等への対応	事業活動に伴い排出される産業廃棄物、特に建設系廃棄物の不法投棄や悪臭等による苦情が多く寄せられ、それらに対する適切な監視・指導を実施、早期対応に努めた。
1 ～ 12		産業廃棄物の保管及び土砂等の埋立て等の不適正処理防止に関する条例の施行	特定事業場の廃止を1件受理したため、12月末現在における管内の特定事業場数は8件となった。これらの事業場に対する適切な土砂搬入を推進するため、搬入届及び定期報告の精査に加え、現地立入調査を実施した。

3 建設部

月	日	事 項	説 明
3	8	国道424号「南部川谷拡幅」の供用開始	国道424号のみなべ町滝～島之瀬の間、約2.3kmが2車線のバイパスとして完成したことにより、「南部川谷拡幅」(みなべ町東本庄～島之瀬 約5.1km)の全線が供用となり、開通式が開催された。仁坂知事、小谷町長、二階代議員、世耕参議、坂本県議が祝辞を述べたあとにテープカット。続いて、地元小学生や南部高校書道部員の字が使われた銘板の除幕が行われた。その後、近くの広場で「子どもみこし」や餅投げが催され、地域を挙げて開通を祝った。
3	22	プレジャーボート協議会	日高川下流に不法係留されている約200隻のプレジャーボート対策として、収容先となる係留保管施設を確保し、不法係留解消をめざす協議会を開催。
4	14	建設工事に係る公共調達制度説明会	県の入札参加資格をもつ建設業者を対象に、建設工事に係る公共調達制度の見直しについて説明会を開催。(参加者：約200名)
5	20	洪水対応演習実施	出水時の水防警報及び洪水予報等の迅速かつ確かな伝達等を行い、防災体制に万全を期するため和歌山地方気象台と共同演習を実施。
5	24	建設リサイクルパトロール	建設リサイクル法にかかる産業廃棄物の適正処理について管内工事現場のパトロールを実施。
6	11	6月10日～13日の梅雨前線の豪雨により道路施設(1箇所)、河川施設(7箇所)が被災	一般県道柏御坊線、二級河川木の川(2箇所)、南部川(2箇所)、辺川、市井の川、切目川が豪雨により被災し、災害査定を受けた。 (8件、決定額 56,494千円)
6	14	土砂災害・全国統一防災訓練	土砂災害に対する全国統一防災訓練として情報等の伝達訓練を管内市町と実施。
6	30	日高川洪水予報連絡会開催	管内最大規模の河川である日高川の洪水予報の伝達等に支障が出ないように、関係機関との調整を図るため連絡会を開催。
7	1	道路掘り返し規制連絡協議会開催	管轄道路上で行われる工事について、各機関との調整を行うことで、交通に極力支障がでないようにすることを目的に協議会を開催。
7	5	7月5日の地震により道路施設(1路線)が被災	一般県道たかの金屋線が地震により被災し、災害査定を受けた。 (1件、決定額 1,680千円)
7	20	7月17日～21日の台風6号の豪雨により河川施設(5箇所)が被災	南部川、江川、猪内川(3箇所)が台風6号の豪雨により被災し、災害査定を受けた。 (5件、決定額 32,346千円)
8	1～5	インターンシップ制度による研修生の受け入れ	和歌山工業高等専門学校の学生2名を研修生として受け入れ、各事業課での実務研修や現場見学等を実施。
9	3～4	8月30日～9月7日の台風12号の豪雨により河川施設(345箇所)、道路施設(64箇所)、砂防施設(15箇所)、ダム施設(14箇所)が被災	日高建設部管内の河川施設、道路施設、砂防施設等が台風12号の豪雨により甚大な被害を受け、災害査定を受けた。日高川(3地区)、切目川、国道424号、田辺龍神線については、被災を受けた箇所だけでなく、再度災害を防止するため未災箇所を含む一連の施設について、災害復旧事業費に改良費を加えた申請を行い、認められた。

査定結果

(単位：千円)

	件数	災害費	改良費	合計
河川	345	9,077,871	4,724,798	13,802,669
砂防	15	234,858	0	234,858
道路	64	3,490,663	990,777	4,481,440
ダム	14	320,372	0	320,372
計	438	13,123,764	5,715,575	18,839,339

10	1	にっぽん丸が日高港に来航	大型豪華客船「にっぽん丸」が日高港に2年連続、3回目の寄航。
10	15	10月14日～16日の豪雨により道路施設(1箇所)が被災	一般県道上初湯川皆瀬線が豪雨により被災した。 (1件、被害額 6,595千円)
11	28	建設工事に係る入札参加資格審査等説明会	建設工事入札参加資格審査申請について説明会を開催。併せて、人権問題についての認識と理解を高めてもらうため、人権研修を実施。 (参加者：約200名)
11	29	宅地建物取引業者の立入調査	宅地建物取引の公正を図るため、業者の事務所等への立ち入り調査を実施。
12	25	樺山ダム台風第12号住民説明会	県から「7・18災害を上回る降水量を記録する中で、規定通りの操作で4時間洪水発生を遅らせ、最善を尽くした。」と説明。 今後の対応として「ダムの治水機能強化へ電気事業者等の協力を得て利水部分の水位を下げて洪水調整することや、より一層洪水に対応できる河川整備、防災情報の提供方法の改善等を考えている。」と回答。